本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

2217＊JA
取扱説明書

P

◆本機の特長◆

●ELオートライト

●デイカウンター機能

●ワールドタイム

●アラーム

●ストップウオッチ

●メモ機能

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



◎ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



⚠ 警告

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

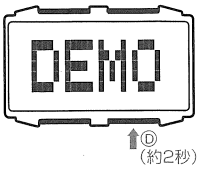
幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目　次

安全上のご注意　表紙裏面
デモ表示について　7
ライト点灯について　8
操作のしくみと表示の見方　12
デイカウンター機能の使い方　17
ワールドタイムの使い方　21
アラームの使い方　25
ストップウオッチの使い方　29
メモ機能の使い方　31
時刻・カレンダーの合わせ方　36
製品仕様 …… 40
ご使用上の注意 …… 42
お手入れについて …… 46
電池交換について …… 47

■デモ表示について

本機は工場出荷時に本機の表示を自動的に見せる「デモ表示」に設定してあります（デモ表示中は、ライト点灯以外の通常のボタン操作はできません）。



●**デモ表示の解除**…Ⓓ ボタンを約２秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

●**デモ表示の設定**…解除するときと同様にⒹ ボタンを約2秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

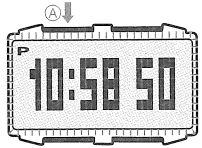
■ボタンを押して発光させる～手動発光～

メモモード以外の各モードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➔時刻モード、デイカウンターモード、ストップウオッチモードのときは約1.5秒間文字板が発光します。

➔ワールドタイムモード、アラーム1モード、アラーム2モードのときは約3秒間文字板が発光します。

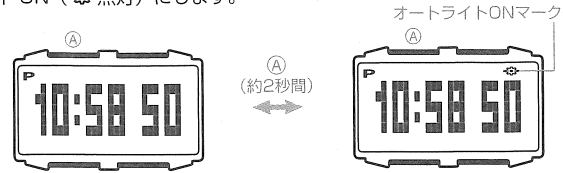


<時刻モード>

■時計を傾けて発光させる～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約1.5秒間発光します。

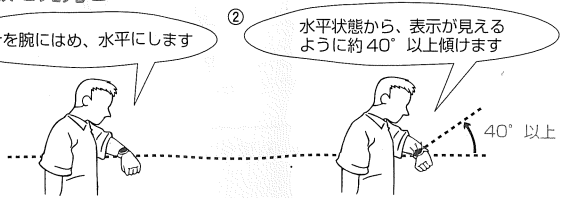
準備：メモモード以外の各モードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（☀点灯）にします。



<オートライト作動しません>　<オートライト作動します>

※オートライトONのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（☀消灯）に戻ります。
※オートライトON／OFF設定は、メモモード以外の各モードのときに行なえます。

●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜EL 発光についてのご注意＞

- ●直射日光下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にⒶボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

＜オートライトご使用時の注意＞

- ●オートライトが作動するのは、“✲”を点灯させてから**約5時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“✲”が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓐボタンを約2秒間押して“✲”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください（40ページ「製品仕様」参照）。

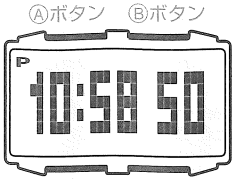
- ●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約1.5秒間のみとなります。
- ●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- ●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

操作のしくみと表示の見方

★各部の名称

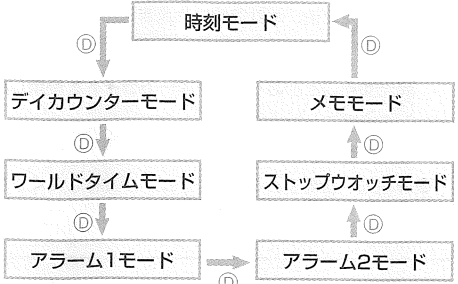


＜時刻モード＞

★モードの切り替え

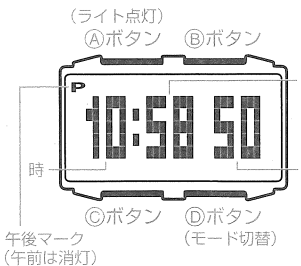
Ⓓボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。

※各モードで何らかのボタン操作（ライト点灯は除く）を行なった後にⒹボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。



★各モードの表示の見方

時刻モード



※他のモードから時刻モードへ戻るとき、ホームタイムの都市コードを表示してから戻ります。

●カレンダーの一時表示

Ⓒボタンを押すと、カレンダーを表示します。

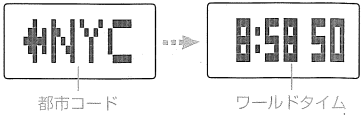


＜曜日の見方＞

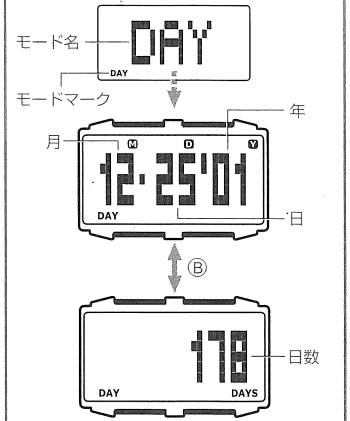
SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

●ワールドタイムの一時表示

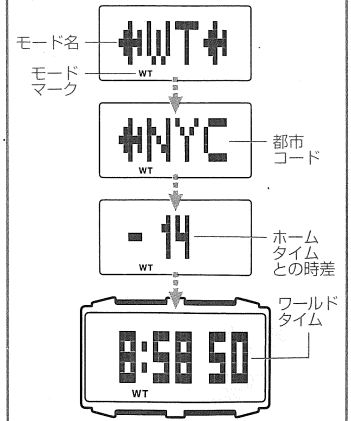
Ⓑボタンを押すと、ワールドタイムモードで選ばれている都市の時刻を表示します。



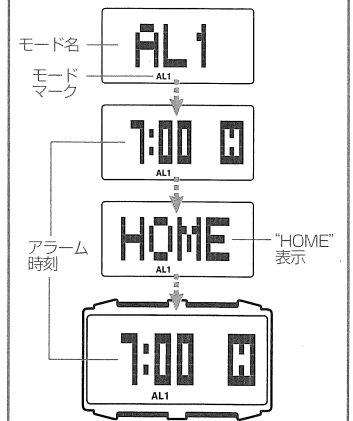
デイカウンターモード



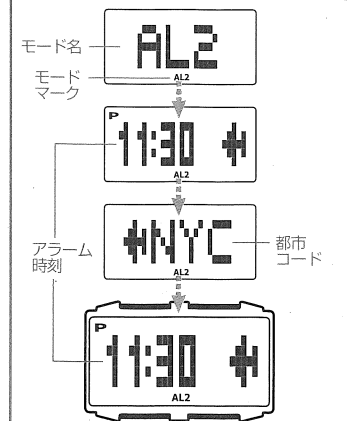
ワールドタイムモード



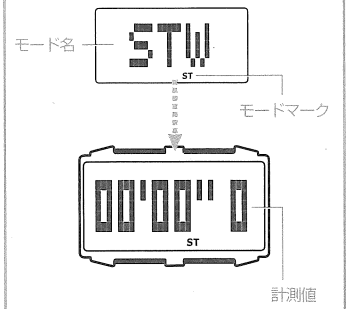
アラーム1モード



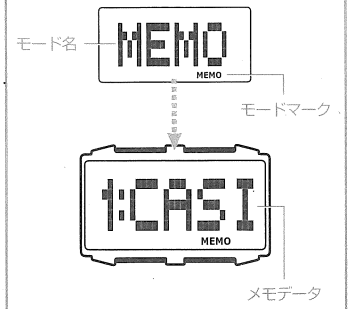
アラーム2モード



ストップウオッチモード



メモモード



デイカウンター機能の使い方

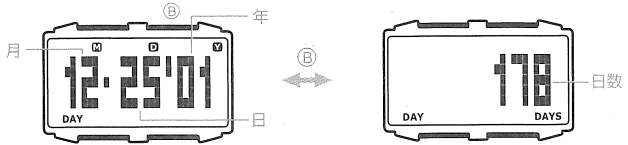
デイカウンターモードでは、今日から設定日までの日数を自動的に計算して表示します。また、設定した「月日」の前日と当日になると表示で知らせてくれます（工場出荷時は、2001年12月25日でメモリーされています）。

●未来の予定日などを設定…今日からの残日数を表示
●過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を表示

■メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、Ⓑ ボタンを押します

➔Ⓑ ボタンを押すごとに、「年・月・日」と「日数」とが切り替わって表示されます。

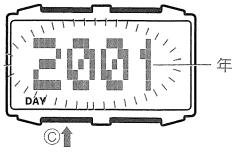


■設定日のセット（修正）

(1)デイカウンターモードのとき、

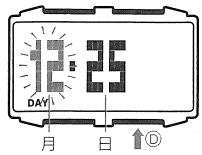
Ⓒ ボタンを約１秒間押し続けます

➔「年」が点滅します。



(2) **Ⓓ ボタンを押します**

➔Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「年→月→日→年…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

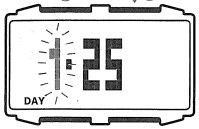


(3) **Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**

➔Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(戻る) Ⓐ　(進む) Ⓑ



(2)～(3)の操作を繰り返して、設定日をセット（修正）します。

※表示が点滅しているときにⒷボタンとⒶボタンを同時に押すと、今日の日付がセットされます。

※「年」は1940～2039年の範囲内でセットできます。

(4) **Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます**

※セットを終わると、今日から設定日までの日数を自動的に計算します。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■設定した「月日」の前日と当日になると

設定した「月日」の前日と当日になると、マークが点滅して知らせてくれます。

●設定した「月日」の**前日**になると“**DAY**”マークが点滅します。

<時刻モード>



“**DAY**”マーク（点滅）

●設定した「月日」の**当日**になると“**DAY**”マークが点滅します。

<時刻モード>



“**DAY**”マーク（点滅）

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムは世界27タイムゾーン（40都市）の時刻およびグリニッジ標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができる機能です。
ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市コードとホームタイムとの時差を表示後、都市の時刻を表示します。

※時刻モードで都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます（36ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓑ ボタンを押します

➔都市コードとホームタイムとの時差を表示後、都市の時刻を表示します。
※押し続けると早送りします。



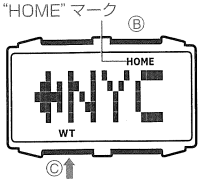
■ホームタイムとワールドタイムの入れ替え

ホームタイムと任意のワールドタイムを簡単に入れ替えることができます。
旅行先で一時的に表示を替えて時刻、日付・曜日を見るとき便利です。

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓑ ボタンを押して、入れ替えたい都市を選びます。

Ⓒ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➔操作確認音が鳴り、"HOME" マークが点灯します。
表示している都市の時刻がホームタイムになります。



■サマータイム（DST）について

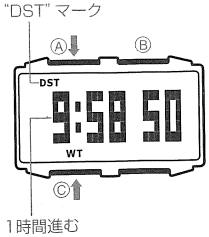
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

■DST の ON／OFF 設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンと Ⓒ ボタンを同時に約 1 秒間押し続けます

➔"DST" マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間早まります。
※各都市ごとにDSTのON／OFFを設定することができます。ただし、"GMT" 表示のときはDSTのON／OFF設定はできません。
※"DST" マークが点灯しているときに、Ⓐ・Ⓒ ボタンを同時に約 1 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	LON	±0	ロンドン	DEL	+5.5	デリー
HNL	−10	ホノルル	PAR	+1	パリ	DAC	+6	ダッカ
ANC	−9	アンカレジ	MIL	+1	ミラノ	RGN	+6.5	ヤンゴン
LAX	−8	ロサンゼルス	ROM	+1	ローマ	BKK	+7	バンコク
SFO	−8	サンフランシスコ	BER	+1	ベルリン	HKG	+8	ホンコン（香港）
YVR	−8	バンクーバー	IST	+2	イスタンブール	SIN	+8	シンガポール
DEN	−7	デンバー	JRS	+2	エルサレム	TYO	+9	東京
CHI	−6	シカゴ	CAI	+2	カイロ	SEL	+9	ソウル
MEX	−6	メキシコシティ	MOW	+3	モスクワ	ADL	+9.5	アデレード
NYC	−5	ニューヨーク	JED	+3	ジッダ	SYD	+10	シドニー
MIA	−5	マイアミ	THR	+3.5	テヘラン	GUM	+10	グアム
CCS	−4	カラカス	DXB	+4	ドバイ	NOU	+11	ヌーメア
RIO	−3	リオデジャネイロ	KBL	+4.5	カブール	WLG	+12	ウェリントン
GMT	±0	<グリニッジ標準時>	KHI	+5	カラチ			

※この表は2000年6月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラームの使い方

本機には、２本のアラーム（アラーム１モード、アラーム２モード）があり、セットした時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
なお、アラームは選んだ都市の時刻に合わせて鳴ります。

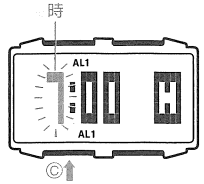
※電子音はアラーム１とアラーム２で異なります。
※ボタン操作はアラーム１モードとアラーム２モードで同様となります。

■アラーム時刻のセット

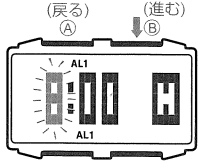
(1)アラーム１またはアラーム２モードのとき、

© ボタンを約１秒間押し続けます

➔アラーム時刻の「時」が点滅します。
※このとき、アラームが自動的にONになります。



(2) Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

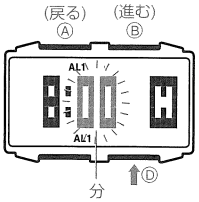


➔Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。なお、ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(3) Ⓓ ボタンを押します

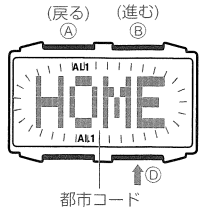


➔アラーム時刻の「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様に Ⓑ または Ⓐ ボタンを押して数字を選びます。

(4)都市を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



➔「都市コード」が点滅します。

Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

➔Ⓑ または Ⓐ ボタンで「都市コード」を選びます（24ページ「■都市コード一覧」参照）。

※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

★ホームタイムに合わせてアラームを鳴らしたいときは…

"HOME" を表示させます（"HOME" は "RIO" と "GMT" の間にあります）。

※セットを終わると "H" マークが表示されます。

★ワールドタイムに合わせてアラームを鳴らしたいときは…

鳴らしたい都市の都市コードを表示させます。

※セットを終わると "W" マークが表示されます。

(5) Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラームのON／OFF設定

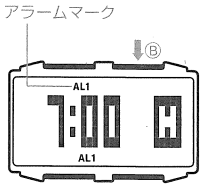
アラーム１またはアラーム２モードのとき、

Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとにアラームマークが点灯／消灯を繰り返します。

※アラーム１モードのときは“AL1”マークが、アラーム２モードのときは“AL2”マークが点灯します。

※マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。



※アラーム１モードのとき

■モニターアラーム

アラーム１またはアラーム２モードのとき、Ⓑボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

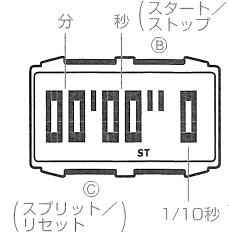
ストップウオッチは23時間59分59秒（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

→1/10秒単位で計測を行ないます。計測値が１時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になり、１秒単位で計測を行ないます。



★計測中にⓒボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。

★計測終了後ⓒボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

● 通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓑ スタート → Ⓒ スプリット計測（└スプリットタイム表示┘） → Ⓒ スプリット解除 → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット

● 1・2着同時計測

Ⓑ スタート → Ⓒ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓒ 2着タイム表示 → Ⓒ リセット

メモ機能の使い方

メモモードでは1件につき16文字のデータを最大30件まで記憶できます。
メモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ メモデータを探す

メモモードのとき、

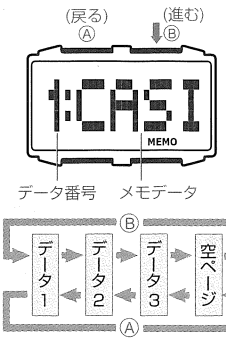
Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

➔Ⓑ ボタンを押すごとにデータが順番に進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※データ入力をしたページと空きページを表示します。なお、データが1件も入力されていないときは、空きページのみ表示します。

※メモデータを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に "◀" マークがつきます）。



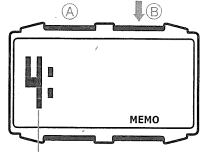
※データを3件入力した場合

■メモデータを入力（修正）する

(1)メモモードのとき、

Ⓑ または Ⓐ ボタンを押して空きページ（修正ページ）を表示させます

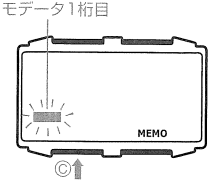
※データがすでに 30 件記憶されているときは、"FULL" と表示されますので、不要なデータを消してください（35 ページ、「■メモデータを消去する」参照）。



<空きページ表示>

(2) **Ⓒ ボタンを約 1 秒間押し続けます**

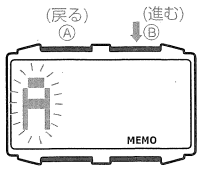
➔メモデータの 1 桁目が点滅します。



(3) **Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**

➔Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

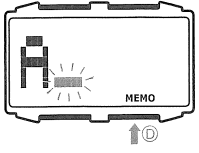
※ Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4) **Ⓓ ボタンを押します**

➔点滅箇所が右に移動します。

※Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所がメモデータ 1 桁目～ 16 桁目と移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、メモデータを入力（修正）します。

※メモデータは最大 16 文字まで入力できます。
※入力できる文字は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（. －@）です。

(5) セットが終わりましたら、Ⓒ ボタンを押します

➔点滅が止まり、入力（修正）したメモデータを表示します。
※点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。
※データは空きページに 1 から 30 まで順番に記憶されます。
※続けてデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行なってください。

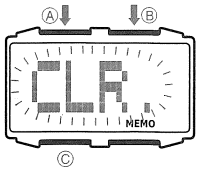
■ メモデータを消去する

(1) Ⓑ または Ⓐ ボタンを押して消去したいメモデータを選びます

(2) Ⓒ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➔メモデータの 1 桁目が点滅します。

(3) Ⓑ ボタンと Ⓐ ボタンを同時に約 1 秒間押し続けます



➔“CLR.” 点滅後、データが消去されます。
※消去後は新たなデータを入力できます。

(4) 消去が終わりましたら、Ⓒ ボタンを押します

※消去後新たなデータを入力しなかったときは、そのページは空きページとなり、データ番号の並べ替えが行なわれます。

時刻・カレンダーの合わせ方

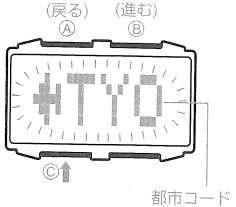
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット（ホームタイム都市の設定）

(1)時刻モードのとき、

Ⓒ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➔「都市コード」が点滅します。



(2)ホームタイム都市を選ぶ

Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

➔Ⓑ または Ⓐ ボタンで「都市コード」を選びます（24 ページ「■都市コード一覧」参照）。

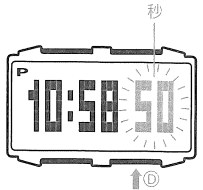
※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

(3)「秒」合わせ…± 30 秒以内の遅れ／進みの修正

Ⓓ ボタンを押します

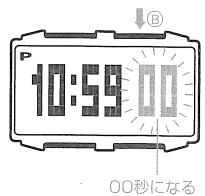
➔「秒」が点滅します。



時報に合わせて Ⓑ ボタンを押します

➔「00 秒」からスタートします。

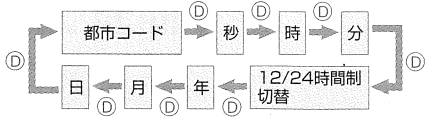
※秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。

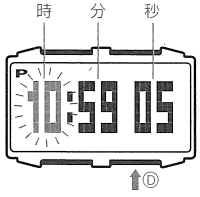


(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

➔Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24 時間制切替」のときは、Ⓑ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000～2039 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示
カレンダー表示＝月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～2039年)

デイカウンター機能：今日から設定日までの日数を表示
設定範囲＝1940～2039年
「月日」一致報知機能（前日／当日）

ワールドタイム機能：世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を表示、
サマータイム設定機能

アラーム機能：2本（アラーム1／アラーム2）
セット単位＝時・分、タイムゾーン（都市名）
アラーム音＝10秒間

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/10秒（00′ 00″ 0～59′ 59″ 9のとき）
1秒（1:00′ 00″ ～23:59′ 59″ のとき）
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2着同時計測

メモ機能：1件につき16文字のデータを最大30件まで記憶
その他：自動復帰機能、
EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、
ELオートライト、12/24時間制表示切替、モニターアラーム

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ CMOS-LSI

使用電池：CR-1216（電池別途販売）
電池寿命：約2年
（電子音10秒間／日、ライト1回／日使用した場合）
※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
●1日当たりライト5回使用…約15ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因になります。

■磁気

● 時計機能には影響ありません。

■薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装部品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。

● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■EL パネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えを取っておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）